

## 避難の心得

いざというために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。



### 状況により、 すばやく避難しましょう!

市から情報が来る前でも、雨の状況などから判断し、避難しましょう。



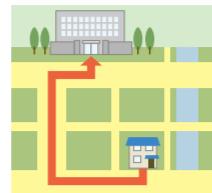
### 集団で助け合おう!

単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。



### 車での避難は控えて!

車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は避けましょう。



### 安全なルートで!

川べり、地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。



### 持ち出し品は最小限に!

非常持ち出し品はリュックサックなどにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。



### 避難所では

係の人の指示に従いましょう!  
避難所に着いたら、住所、氏名を報告しましょう。

## 水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければなりません。そのような場合は、避難場所への移動（水平避難）だけでなく、近隣ビルの高層階や自宅の3階といった高い場所への移動（垂直避難）を行って、救助を待つという判断も必要です。



危険な避難



避難場所への早めの避難（水平避難）



高所への避難（垂直避難）

## 非常持ち出し品について

いざという時には、ただちに避難しなければなりません。そのようなときに備えて、食料品や水、感染症予防用品等、非常用持ち出し品を常備しておきましょう。



避難のとき、  
両手が自由に使えるように  
リュックサックなどに  
まとめましょう。

食品・水	救急・安全関係	貴重品
<input type="checkbox"/> 飲料水(500mlペットボトル程度) <input type="checkbox"/> 乾パン・クラッカー・缶詰など、火を通さないでも食べられるもの	<input type="checkbox"/> ヘルメット(防災ずきん) <input type="checkbox"/> 急救医薬品(絆創膏・傷薬・包帯) <input type="checkbox"/> 病人やお年寄りの常備薬 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 消毒液 <input type="checkbox"/> 体温計	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 預貯金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> 権利証書 <input type="checkbox"/> 免許証 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> クレジットカード類

日用品	衣類など	その他
<input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> ろうそく・ライター <input type="checkbox"/> ナイフ・缶切り <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 電池	<input type="checkbox"/> 衣類(上着・下着) <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> 手袋、軍手	<input type="checkbox"/> 洗面用具(歯ブラシ・石けん) <input type="checkbox"/> ほ乳びん <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> メガネ

## 土砂災害(特別)警戒区域

京都府が実施した砂防基礎調査によって、2種類の土砂災害のおそれのある範囲（土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域）が明らかにされています。

### 土砂災害警戒区域とは…

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知・警戒避難体制の整備が行われます。

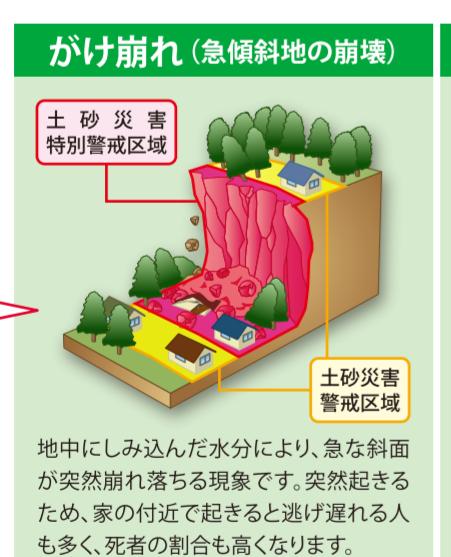
### 土砂災害特別警戒区域とは…

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制・建築物の構造規制等が行われます。

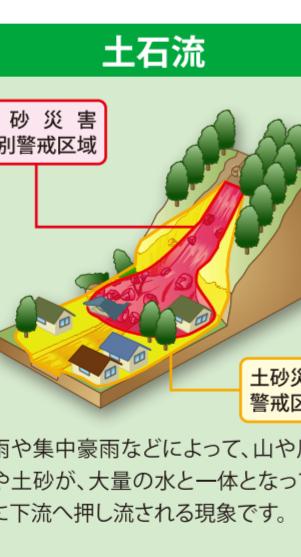
## 土砂災害の種類と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ、かけ崩れ・土石流・地すべりといった土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るために、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。また、土砂災害には前兆現象があります。前兆現象を確認したら、速やかに避難するとともに、綾部市へご連絡ください。

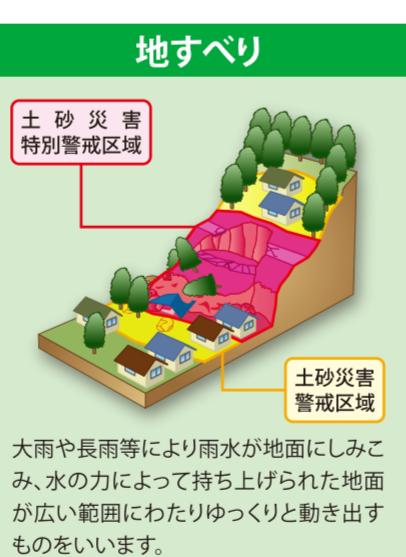
土砂災害の種類には、大きく分けて3つのタイプがあります。自分の周りではどのタイプの土砂災害のおそれがあるか、確認しておきましょう。



### かけ崩れ(急傾斜地の崩壊)



### 土石流



### 地すべり

### 土砂災害から身を守るポイント

●住んでいる場所が「土砂災害(特別)警戒区域」かどうか確認してください。

●雨が降り出したら土砂災害警戒情報を注意してください。

●危険を感じたら早めに避難してください。

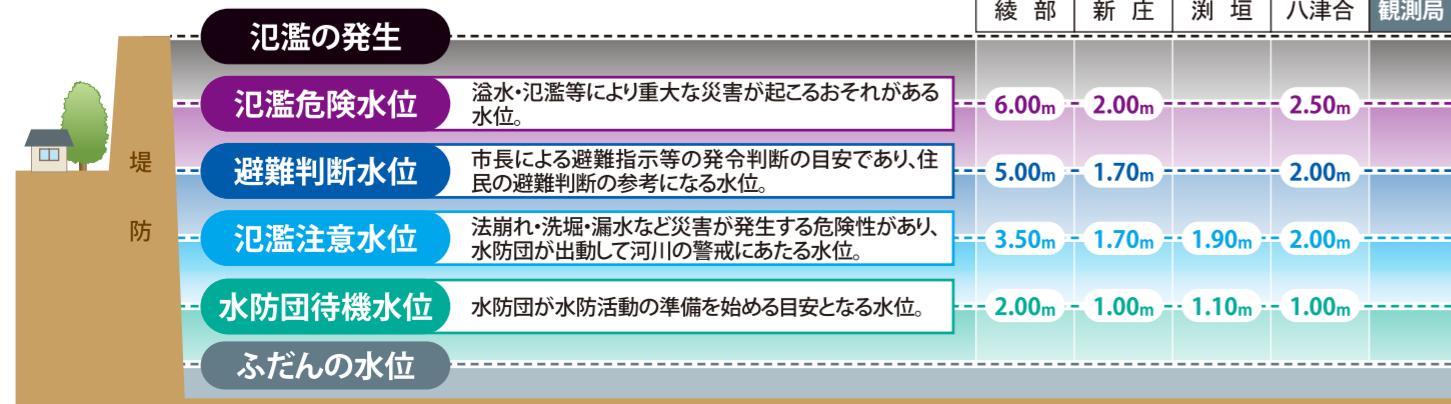


避難場所等への  
移動がどうしても  
困難な場合は…

家の2階以上へ  
(かけと反対側)

河川の水位情報

河川の水位が上昇して洪水のおそれがあるとき、避難情報を発令します。各避難情報は、各河川で定められた水位の基準に達するなどの状況から判断し、発令します。



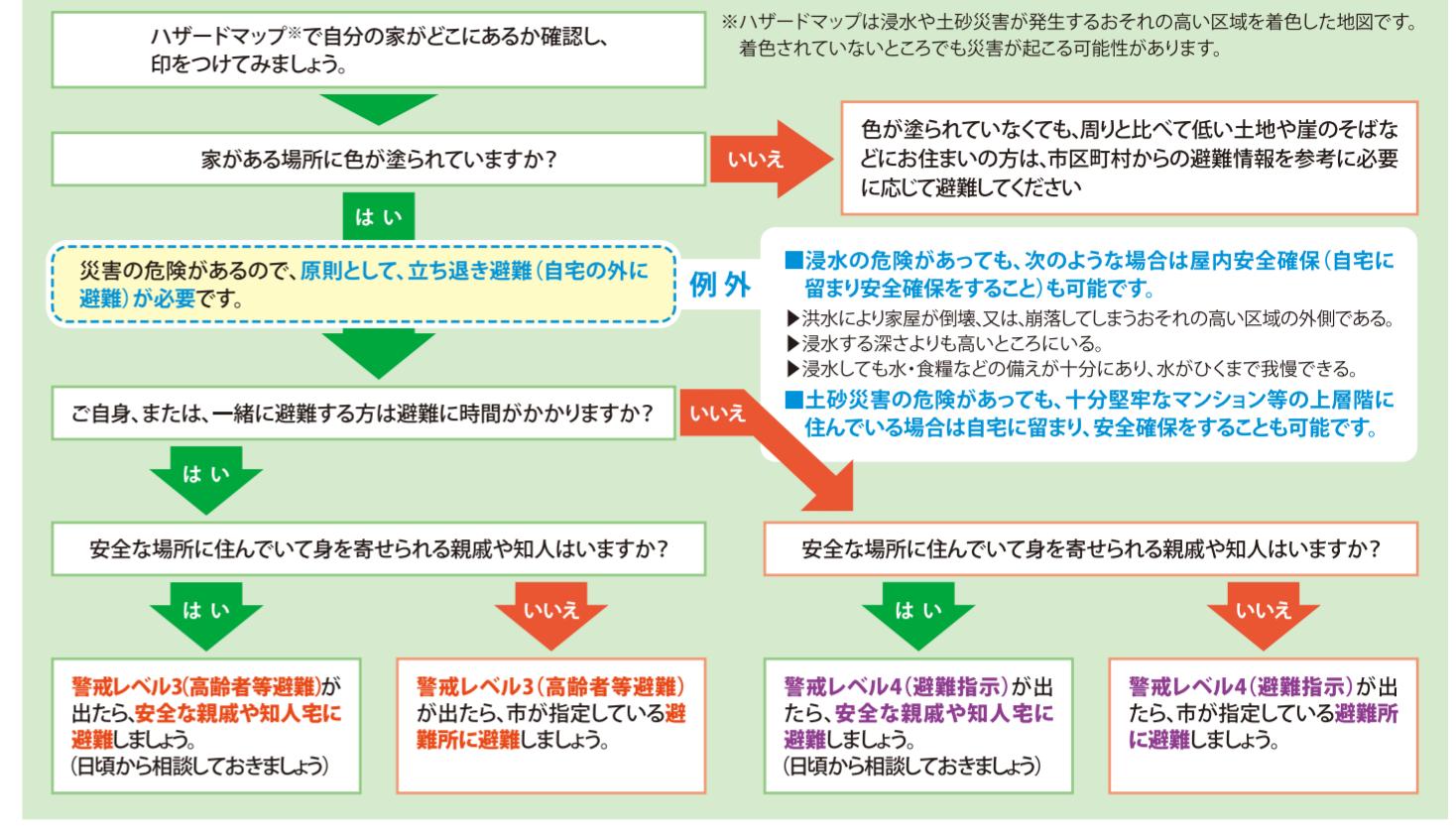
# 綾部市ハザードマップ

平时に  
確認

## 避難行動判定フローを確認しましょう

「避難行動判定フロー」を「ハザードマップ」とあわせて確認し、居住する地域の災害リスクや住宅の条件等を考慮したうえでとるべき避難行動や適切な避難先を確認しておきましょう。

### 避難行動判定フロー



## 警戒レベルと避難情報

令和元年から、避難情報等や防災気象情報の意味を直感的に理解できるよう、5段階の警戒レベルに分類しています。さらに、令和3年の出水期頃から、避難情報等の名称を変更するとともに、とるべき行動も明確化されることになりました。警戒レベルに応じて、適切な避難行動をとってください。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	防災気象情報 (気象庁が発表)	避難情報等 (綾部市が発令)
警戒レベル5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	大雨特別警報	緊急安全確保
警戒レベル4までに必ず避難!				
警戒レベル4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	土砂災害警戒情報	避難指示
警戒レベル3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	大雨警報 洪水警報	高齢者等避難
警戒レベル2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報	
警戒レベル1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	

\*1 災害の発生を把握できていない場合もあるため、「警戒レベル5」「緊急安全確保」は必ず発令されるものではありませんのでご注意ください。  
\*2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令します。

\*3 高齢者等以外の方も危険を感じたら自主的に避難してください。

## ～浸水想定区域について～

このマップに示す浸水想定区域は、水防法に基づき国や京都府が解析を行った、想定し得る最大規模の降雨により発生する洪水の浸水想定区域図を重ね合わせ、最大となる浸水区域および浸水深を示しています。

なお、家屋倒壊等氾濫想定区域に含まれる場合は、早めの避難を心がけてください。

### 家屋倒壊等氾濫想定区域

洪水時に、家屋の倒壊・流失をもたらすような激しい流れが発生するおそれがある、堤防沿いの地域を「家屋倒壊等氾濫想定区域」として設定しています。この区域では、自宅等が倒壊するおそれがあることから、浸水区域外への早期の立退き避難が必要です。

### 河岸侵食



河川の激しい流れによって地面が削られ、家屋が倒壊するおそれがある区域です。

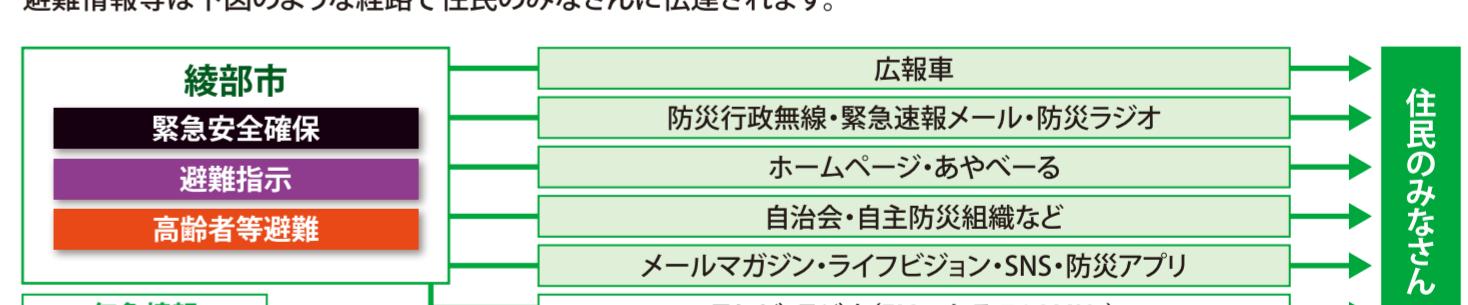
### 氾濫流



河川の氾濫流によって家屋が倒壊するおそれがある区域です。

## 災害時の情報伝達方法

避難情報等は下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。



## 情報の入手先

### 綾部市ホームページ

綾部市の最新情報を提供しています。

URL <https://www.city.ayabe.lg.jp/index.html>



QRコード

### 京都府河川防災情報

府内の雨量や水位情報を提供しています。

URL <http://chisubousai.pref.kyoto.jp/>

